

式 辞

本日、本科5年の教育課程を終え、卒業の日を迎えられた5年生189名、そして、本科の課程に加えて、さらに専攻科課程を修了された専攻科2年生19名、それから、5年生の中には、マレーシアからの留学生4名も3年間の学習を終え卒業の日を迎えられました。皆さん、おめでとうございます。ぜひ、福井高専を卒業したという自信と誇りをもって何事にも前向きに臨んでください。

皆さんのご活躍は、保護者の皆様はもとより、本日たくさんのお祝いを頂いています地域の皆様様の夢や希望でもあります。本校を卒業して、地元で働くことを選ばれた方もいるでしょう。あるいは、福井を離れる方もおられるでしょう。でも、ふるさと福井を大切にしてください。福井以外の地域からここに来て学んだ人も、どうか、福井を

第二のふるさととして大切にしてください。

本校の先生は、皆さんを5年間、あるいは7年間、時に優しく、また時に厳しく指導したことでしよう。それは、ひとえに皆さんに自立を促す一つの術であったはずです。皆さんが、何年かのうちに、「この学校は、厳しかった。」と懐古されることを、私たちは覚悟しています。しかし、その「厳しかった」の後に「でも、そのおかげで力がついた。」という言葉が続くことを期待しています。皆さんは、この高専で多くの知識や技術という

決して他人から奪われることのない財産を身につけられました。加えて、友人という生涯の宝物も得られたでしょう。これらは、間違いなく皆さん自身の財産であり、宝物です。これらの財産を糧に、来たるべき未来、情報化がさらに進む社会やグローバル化が進む社会を、より豊かにする信頼される人として活躍してください。

「人は、生涯全てが修行の場」です。本校を卒業した後も、新たな人生において必要な知識や技術をさらに高めるために、学習し続けることが

大切です。これまで、たくさんの指導者に会われたと思いますが、皆さんにとって最高の指導者は、実は皆さん自身です。自分自身が成長し苦難を乗り越えるために、自分自身を自分自身にとって最高の指導者やコーチに育てることが大切です。

す。そのために、学習し続けることが大切です。

また、「人生において最も大切なものは、見えないけれどもすぐそばにある」とも言います。家族からの惜しみない愛情や、恩師からのアドバイス、友と交わす友情、地域や社会の支援、あるいは、自然の恵みなど、当たり前前にそこにあると感じてしまいがちなものを有難いと感じ、感謝を忘れてはいけないということでしょう。そして、大切なことは、今度は、皆さんがそうした愛情や支援を送る立場になるということです。皆さんが、

これまで学んだ技術や知識をもって自立し、社会を支える一員になるということです。これから、皆さんご自身のライフイベントも含めて、いろいろな課題や苦難に立ち向かわなくてはならないと思います。しかし、チャンスは、ピンチの顔を

してやって来るといふ言葉もあります。大切なのはプラス思考。苦難に立ち向かうときこそ、活路は、冷静さとプラス思考によって見いだされま
す。ぜひ、これから出会う困難にくじけることな
く、輝かしい未来を創造してください。

皆さんと共に学んだ時間は、私たちの宝でもあ
ります。

皆さんの活躍は、私たち教職員の夢や希望でも
あります。

皆さんのますますの発展とご活躍をお祈りし
て、卒業ならびに修了に向けた式辞といたしま
す。

令和二年三月十九日

独立行政法人国立高等専門学校機構

福井工業高等専門学校長

田村隆弘